

電話

3

通話方法とオプションサービスについて	3-2
音声電話	3-4
音声電話をかける	3-4
音声電話を受ける	3-4
通話中の操作	3-5
スピードダイヤル	3-6
スピードダイヤルに登録する	3-6
スピードダイヤルから電話をかける	3-6
緊急電話発信	3-7
着信拒否	3-7
着信中の電話を拒否する	3-7
通話履歴（発信／着信／不在着信）	3-8
通話履歴を確認する	3-8
通話履歴を使って電話をかける	3-8
通話履歴を削除する	3-8
通話時間／データ通信時間などの確認	3-9
日本から海外へ電話をかける	3-9
海外での利用（世界対応ケータイ）	3-10
ネットワークを設定する	3-10
ネットワークモードを切り替える	3-11
海外で電話をかける	3-11

オプションサービス	3-11
留守番電話サービス	3-12
転送電話サービス	3-13
割込通話サービス	3-14
グループ通話サービス	3-15
発信規制サービス	3-15
発信者番号通知サービス	3-16
便利な機能	3-17
電話に関する便利な機能	3-17
スピードダイヤルに関する便利な機能	3-18
通話履歴に関する便利な機能	3-18
グループ通話サービスに関する便利な機能	3-18

通話方法とオプションサービスについて

本機では、音声通話をするだけでなく、スピードダイヤルに登録することで簡単に通話することもできます。また、留守番電話、転送電話など様々なオプションサービスを利用することもできます。この章では、電話のかけかたとオプションサービスについて説明します。

3

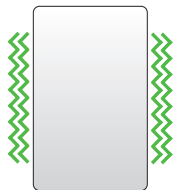
電話

音声通話



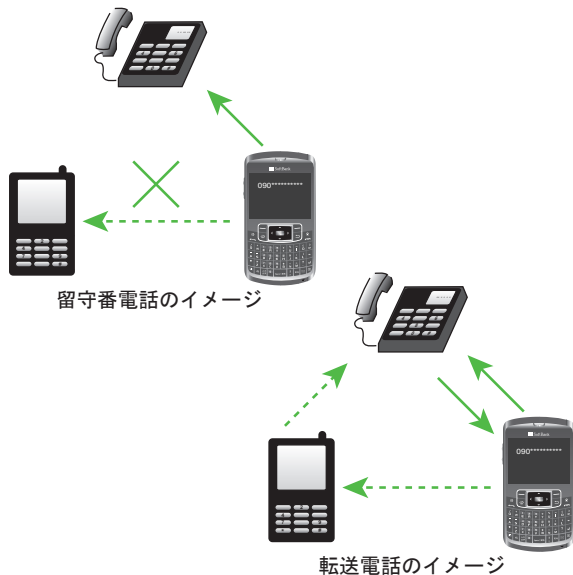
音声のみを使って通話します
(☎P.3-4)。

電話にでられないときには



本機に着信中、電話にでられないときには留守番電話や転送電話のオプションサービスを利用できます (☎P.3-11)。

電源を切っていたり、電波の届かないところで着信した場合に留守録を残したり、電話を転送することもできるオプションサービスです。



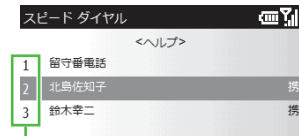
また、次のような機能を利用することもできます。

グローバルな通話

本機は、世界対応ケータイに対応しています。別途お申し込みいただくと、日本だけでなく世界でも本機をご使用できます(☎P.3-10)。また、国際電話も発信できますので、世界中で世界中の人々と通話を楽しめます。



素早く電話をかける (スピードダイヤル)



数字キーを長押しする

スピードダイヤルを使うと、よく電話をかける相手に簡単な操作で電話をかけることができます(☎P.3-6)。

通話履歴の利用

通話履歴	
1 連絡先の検索	
2 SMS メッセージの送信	
3 電子メール	
4 通話時間の表示	
5 削除	
6 履歴をすべて削除	
7 連絡先に保存	
8 フィルター	
9 SIメール(電話番号)送信	
保存	

累積通話時間や、前回の通話時間を確認できます(☎P.3-9)。

様々なオプションサービスの利用

グループ電話サービス(三者通話サービス)など様々なオプションサービスを利用できます(☎P.3-11)。



グループ電話のイメージ

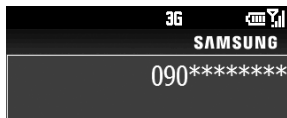
音声電話

ここでは、音声通話のかけ方、受け方、および通話中の操作について説明します。

音声電話をかける

ここでは、電話番号を直接入力して音声電話をかける方法について説明します。連絡先から音声電話をかける場合は「連絡先から電話をかける」(P.2-14)を参照してください。

1 → 電話番号全桁（市外番号を含む）を入力








該当なし: 090zzzzzzz

保存

メニュー

2 電話番号を確認 →

3 通話終了 →

- 電話番号を間違えたときは  を押し、 を1秒以上押すと、すべての数字が消えます。
- 電話番号として「P（ポーズ）」を入力するには、 を押します。「+(国際コード)」を入力するには、 を長押しします。
- 相手がお話中のときは、 を押して電話を切り、しばらくしてからかけ直してください。
- 自動音声サービスなどでガイダンスに従って数字を入力するときは、数字キーを押します。




音声電話を受ける

ここでは、かかってきた電話を受ける方法について説明します。

1 着信中に



2 通話終了 →

- 着信音量を消すには、着信中に  /  を押します。
- 電話に出なかったときは、不在着信としてお知らせします。 を押すと、着信履歴 (P.3-8) を確認できます。
- 相手が電話番号を通知してかけてきたときは、ディスプレイに電話番号が表示されます。電話番号が連絡先に登録されている場合は、登録されている名前が表示されます。相手が電話番号を通知してこなかった場合は、「非通知」と表示されます。連絡先に着信画像が設定されている場合は、画像も表示されます (P.2-18)。

通話中の操作

ここでは、通話中に使う操作方法について説明します。

通話音量を調節する

通話中に相手の声の音量を調節できます。

1 通話中



2

- 変更した音量は、電源を切っても保持されています。

着信を保留する

相手との通話を保留にして、あとから保留を終了して通話を再開することができます。

1 通話中に《メニュー》→「保留」

- 保留中は相手に保留音が流れ、双方の音が聞こえなくなります。保留操作を行うには、割込通話サービスまたはグループ通話サービスのお申し込みが必要です。
- 通話に戻るときは《保留解除》を選択します。
- 通話中の一時保留をご利用になるには、割込通話サービス(☎P.3-14)もしくはグループ通話サービス(☎P.3-15)へのお申し込みが必要です。万一、何らかの損害がお客様に発生した場合でも一切責任を負うものではありませんので、あらかじめご了承ください。

使いこなしチェック!

便利 ☎ P.3-17

- 入力した電話番号を連絡先に登録したい
- 入力した電話番号を宛先としたメールを作成したい
- 自分の電話番号を通知するかどうかを設定して電話をかけたい
- 通話中に相手の声の音量を調節したい
- 音声の送信を設定したい
- 通話中にスピーカーホン通話に切り替えたい
- 通話を保留にしたい
- ヘッドセットでの通話と本体での通話を切り替えたい
- 通話中に連絡先を表示したい

設定

- 帯域を切り替える (☞P.12-5)
- 通話のオプションを設定する (☞P.12-5)
- 発信者番号通知を設定する (☞P.12-5)
- 発信先固定を設定する (☞P.12-6)
- ネットワークを設定する (☞P.12-6)
- 自動応答について設定する (☞P.12-6)
- 割り込み通話について設定する (☞P.12-6)
- 着信規制について設定する (☞P.12-6)
- 発信規制について設定する (☞P.12-6)
- 転送電話について設定する (☞P.12-6)
- 固有番号を確認する (☞P.12-6)
- 固有番号の名前を編集する (☞P.12-6)
- チャンネルの設定を変更する (☞P.12-6)

スピードダイヤル

連絡先に登録した電話番号を、スピードダイヤルに追加すると、簡単な操作で電話をかけることができます。

スピードダイヤルに登録する

- 1 連絡先を開いて電話番号を選択
- 2 «メニュー»→「スピードダイヤルに追加」
- 3 「キーパッドの割り当て」欄を反転表示→利用可能な番号を選択→«完了»

・スピードダイヤルの登録状況を確認したり、削除するには、スピードダイヤルのアプリケーションを起動します(☉P.3-18)。

スピードダイヤルから電話をかける

- 1 登録したスピードダイヤルの番号キーを長押し

使いこなしチェック!

便利 ☞P.3-18

- スピードダイヤルを実行したい
- スピードダイヤルから連絡先を検索したい
- スピードダイヤルを削除したい

緊急電話発信

緊急電話発信とは、緊急時に使用する電話発信「110（警察）」「119（消防）」「118（海上保安部）」のことです。本機で発信の制限などを設定している場合、緊急電話発信の可否は次のとおりです。

本機の状態	緊急電話発信
電話機能オフ中(☑P.1-15)	不可
デバイスロック中(☑P.9-4)	「110」「119」「118」可
PIN認証(☑P.9-4)で、未認証のとき	不可
USIM照合(☑P.9-5)で、未認証のとき	不可
発信規制中(☑P.3-15)	「110」「119」「118」可

緊急通報位置通知について

緊急通報位置通知とは、本機から緊急通報を行った場合、発信した際の位置の情報を緊急通報受理機関（警察など）に対して通知するシステムです。

本機では受信している基地局測位情報をもとに算出した、位置情報を通知します。

- 発信場所や電波の受信状況により、正確な位置が通知されないことがあります。緊急通報受理機関に対して、必ず口頭で発信場所や目標物をお伝えください。
- 基地局測位情報の精度は、数100m～10km程度となります。また、実際の位置とは異なった位置情報が通知される場合があります（遠方の基地局電波を受信した場合など）。
- 緊急通報位置通知機能は、接続先となる緊急通報受理機関が、位置情報を受信できるシステムを導入したあと、ご利用いただけるようになります。
- 「184」を付けて、「110」「119」「118」の緊急通報番号をダイヤルした場合などは、緊急通報受理機関に位置情報は通知されません。ただし、緊急通報受理機関が人の生命などに差し迫った危険があると判断した場合には、同機関が発信者の位置情報を取得する場合があります。
- 申し込み料金、通信料は一切ありません。

注意

- 海外でのご利用にあたっては、無線ネットワークや無線信号、本機の機能の設定状態によって動作が異なるため、すべての国や地域での接続を保証するものではありません。

着信拒否

着信中の電話を拒否することができます。

着信中の電話を拒否する

1 着信中に ☒ (拒否)

- 拒否した電話は、不在着信として記録されます。

通話履歴 (発信／着信／不在着信)

通話履歴には、発信、着信、不在着信があります。それぞれの履歴から相手の電話番号や通話時間などを確認したり、履歴を利用して電話をかけたりすることができます。

通話履歴を確認する

1 «スタート»→「アプリケーション」→「通話履歴」





2 確認したい履歴を選択

• 履歴一覧のアイコン
履歴一覧には、発信、着信、不在着信を識別するアイコンが表示されます。

 : 発信

 : 着信


 : 不在着信

• ホーム画面で  を押しても履歴を確認することができます。

通話履歴を使って電話をかける

1 «スタート»→「アプリケーション」→「通話履歴」→ 目的の履歴を選択

2

• ホーム画面で  を押して、表示される履歴から電話をかけることもできます。

通話履歴を削除する

1 «スタート»→「アプリケーション」→「通話履歴」

2 目的の履歴を反転表示→ «メニュー»→「削除」→ «はい»

• すべての履歴を削除するときは、操作 1 のあと、«メニュー»→「履歴をすべて削除」→«はい»を選択します。

使いごなしチェック!

 便利  P.3-18

- 通話履歴からメールを作成したい
- 通話履歴の電話番号が登録されている連絡先を確認したい

通話時間／データ通信時間 などの確認

通話履歴から次の項目を確認することができます。

項目	内容
前回の通話時間	前回の通話時間を確認できます。
累積通話時間	通話の合計時間を確認できます。
着信履歴	着信の時間を確認できます。
発信履歴	発信の時間を確認できます。
ローミング 累積利用時間	ローミング利用時間を確認できます。
データ通信	データ通信の時間を確認できます。
前回リセット した日時	総累積通話時間以外をリセットできます。リセットした日時が表示されます。
総累積通話 時間	合計通話時間を確認できません。リセットできません。


① ≪スタート≫→「アプリケーション」→「通話履歴」

② 確認したい項目を反転表示
→≪メニュー≫→「通話時間の表示」

• ≪メニュー≫→「通話時間のリセット」
→≪はい≫を選択すると、総累積通話時間以外をリセットすることができます。


日本から海外へ電話をかける

日本から国際電話をかけることができます。

①  → + (国際コード)、国番号、発信先電話番号（先頭の0を除く）の順で入力

② 電話番号を確認 → 

- 海外にいる相手のソフトバンク携帯電話へは、相手のいる国にかかわらず電話番号だけでかけることができます。

- を長押しすると「+」を入力できます。
- イタリアに電話をかける場合、先頭に「0」があるときは除かずにそのまま電話番号を入力します。

海外での利用 (世界対応ケータイ)

海外でのご利用の詳細については、『世界対応ケータイサービスガイド』またはソフトバンクモバイルホームページ (<http://www.softbank.jp>) を参照してください。

海外にお出かけになるときは、『世界対応ケータイサービスガイド』を携帯してください。

ネットワークを設定する

ネットワークには、代表的なものにSoftBank 3Gとしてご提供している第三世代の3Gや多くの国で標準として使用されているGSMがあります。

接続するネットワークを選択する

ご利用になる地域によって、ネットワーク(事業者)を切り替える必要があります。「手動」で切り替えることもできます。

- 1 «スタート»→「設定」→「電話」→「通話サービス」→「ネットワーク」

- 2 「ネットワークの選択」欄で「自動」／「手動」

- 自動的にネットワークを選択させるとき
「自動」
- 特定のネットワークを選択するとき
「手動」→«メニュー»→「ネットワークの選択」→接続するネットワークを選択

優先されるネットワークを設定する

ネットワーク選択を「自動」に設定したときに、優先的に選択されるネットワークの一覧を編集できます。

- 1 «スタート»→「設定」→「電話」→「通話サービス」→「ネットワーク」

- 2 「ネットワークの選択」欄で「自動」を選択

- 3 «メニュー»→「優先するネットワーク」

- 4 優先度リストの編集操作

- ネットワークリストで対象／対象外を切り替えるとき
ネットワークリストで対象／対象外を切り替えたいネットワークを選択→チェックボックスのオン／オフが切り替わる→«完了»
- ネットワークを新規追加するとき
優先するネットワークの画面で«メニュー»→「追加」→追加するネットワークをリストから反転表示→«選択»→«完了»

- 数値データでネットワークを追加する場合は、優先するネットワークの画面で«メニュー»→「カスタム設定の追加」を選択します。
- 操作 ④ のあと、«メニュー»→「上へ移動」／「下へ移動」を選択すると優先順位を変更できます。

ネットワークモードを切り替える

ネットワークモード（帯域）とは、携帯電話機の通信方式（3G や GSM）を利用した状態を示します。利用するネットワークの切り替え方を設定します。

お買い上げ時は自動的にネットワークモードが切り替わるように設定されています。手動で特定のネットワークモードを選択するように設定することもできます。

1 《スタート》→「設定」→「電話」
→「通話サービス」→「帯域の選択」

2 設定の選択操作

- 自動的に帯域を選択させるとき
「自動」→《完了》
- 手動で特定の帯域を選択するとき
「GSM900/1800」／「GSM1900」
／「WCDMA」のいずれかを選択→
《完了》

• 帯域の設定

「自動」：

お使いの場所（ネットワークの状態）に応じて、自動的にモードが切り替わる

「WCDMA」：


日本国内と海外の 3G/UMTS サービスエリアで使用できるモード

「GSM900/1800」／「GSM1900」：
海外の GSM サービスエリアで使用できるモード


- 通常は「自動」に設定してお使いになることをおすすめします。

海外で電話をかける

海外での緊急通報は、無線ネットワークや無線信号、本機の機能設定状態、USIM の状態によって動作が異なるため、全ての国やエリアでの接続を保証できるものではありません（☞P.3-7）。

1  → +（国際コード）、**国番号、電話番号を全桁（先頭の 0 を除いた市外局番を含む）** 入力

2 電話番号を確認 → 

-  を長押しすると「+」を入力できます。
- イタリアに電話をかける場合、先頭に「0」があるときは除かずにそのまま電話番号を入力します。

オプションサービス

オプションサービスの種類は次のとおりです。

サービス	内容
留守番電話サービス	電波の届かない場所にいるときや、電話に出られないときに、留守番電話サービスセンターで伝言メッセージを預かります。 ・ 着信お知らせ機能を設定すると、電源を切っているときや圏外のかかってきた電話を SMS でお知らせします（☞P.3-12）。
転送電話サービス	電波の届かない場所にいるときや、電話に出られないときに、かかってきた電話を指定した電話番号へ転送します。
割込通話サービス*	通話中の相手を保留にし、他の相手からの電話を受けたり、他の相手へ電話をかけることができます。また、相手を切り替えながら通話することもできます。
グループ通話サービス（三者通話サービス）*	通話中に他の相手に音声電話をかけ、最大 6 人同時に通話できます。相手を切り替えながら通話することもできます。

サービス	内容
発着信規制サービス	電話をかけたり受けたりすることを、状況に合わせて制限できます。
発信者番号通知サービス	お客様の電話番号を相手に通知したり、非通知にする設定ができます。

※サービスのご利用には、別途お申し込みが必要です。

注意

- 電波の届かない場所では、本機からは操作できません。一般電話からの操作、サービスの詳細についてはソフトバンクモバイルホームページ(<http://www.softbank.jp>)でご確認ください。

留守番電話サービス

下記の転送条件に従って、かかってきた音声電話を留守番電話サービスセンターに転送します。

留守番電話サービスを利用する場合は、それぞれの転送先に留守番電話を選択します。

転送条件	内容
無条件	着信音を鳴らさずに、すべての着信を転送します。不在着信も記録されません。
無応答転送	設定した呼出時間内に電話に出なかったときに転送します。
話中時転送	通話中に転送します。
圏外/電源オフ時転送	電源を切っているときや圏外のために電話がつかないときに転送します。

注意

- 「無条件」を設定した場合、あとから「無応答転送」、「話中時転送」、「圏外/電源オフ時転送」を設定することはできません。
- 「無条件」を設定すると、「無応答転送」、「話中時転送」、「圏外/電源オフ時転送」の設定より優先され、無条件で転送されます。

留守番電話サービスを設定する

① 《スタート》→「設定」→「電話」→「音声通話」→「転送電話」

② 「無条件」 / 「無応答転送」 / 「話中時転送」 / 「圏外 / 電源オフ時転送」を設定

■「無条件」 / 「話中時転送」 / 「圏外 / 電源オフ時転送」

「通話の転送先」欄に「留守番電話メッセージ」を選択→《完了》

■「無応答転送」

「通話の転送先」欄に「留守番電話メッセージ」を選択→「次の時間経過後に転送」欄に「5秒」 / 「10秒」 / 「15秒」 / 「20秒」 / 「25秒」 / 「30秒」を選択→《完了》

- 「無応答転送」で留守番電話サービスを設定したときは、着信中（呼出時間の設定秒数内）に電話に出ると、そのまま通話できます。

留守番電話サービスを解除する


① 《スタート》→「設定」→「電話」→「音声通話」→「転送電話」

2 「メニュー」→「すべて無効」

注意




- 転送電話サービスが設定されている場合も、解除されます。


留守番電話の伝言メッセージを聞く

留守番電話サービスセンターに伝言メッセージが録音されると、その旨の通知画面が表示され、ディスプレイにが表示されます。



アイコンとメッセージで
お知らせする

- 通知画面が表示されているとき
ホーム画面で「留守番電話」を選択
→「留守番電話」
- 通知画面が表示されていないとき
 - ・ → 「1416」を入力 → 
 - ・ を長押しすることで、スピードダイヤルで「1416」をダイヤルすることもできます。

- 本機から伝言メッセージを聞き、ガイダンスに従ってメッセージを消去すると、ディスプレイのが消えます。

着信お知らせ機能を設定する

留守番電話サービス設定中に、電波の届かない場所や電源が入っていなかったために受けられなかった着信があったときは、SMSでお知らせします。また、通話中に留守番電話サービスセンターで伝言メッセージをお預かりした場合もお知らせします。

1  → 「1414」を入力 → 

2 ガイダンスに従って操作

- 着信お知らせ機能は、通話料無料で設定できます。

転送電話サービス

あらかじめ設定した転送条件(☞P.3-12)に従って、かかってきた電話を別の電話番号に転送します。

注意

- 「無条件」を設定した場合、あとから「無応答転送」、「話中時転送」、「圏外/電源オフ時転送」を設定することはできません。
- 「無条件」を設定すると、「無応答転送」、「話中時転送」、「圏外/電源オフ時転送」の設定より優先され、無条件で転送されます。

転送電話サービスを設定する

サービスを設定するときは転送先を指定します。

1 「スタート」→「設定」→
「電話」→「音声通話」→「転送電話」

2 「無条件」 / 「無応答転送」
 / 「話中時転送」 / 「圏外 / 電源オフ時転送」を設定

- 「無条件」／「話中時転送」／「圏外／電源オフ時転送」

「通話の転送先」欄に「カスタム」を選択→「電話番号」欄に転送先の電話番号を入力→《完了》

- 「無応答転送」

「通話の転送先」欄に「カスタム」を選択→「電話番号」欄に転送先の電話番号を入力→「次の時間経過後に転送」欄に「5秒」／「10秒」／「15秒」／「20秒」／「25秒」／「30秒」を選択→《完了》

- 「無応答転送」で転送電話サービスを設定したときは、着信中（呼出時間の設定秒数内）に電話に出ると、そのまま通話できます。

転送電話サービスを解除する

- 1 《スタート》→「設定」→「電話」→「音声通話」→「転送電話」
- 2 《メニュー》→「すべて無効」



注意

- 留守電話サービスが設定されている場合も、解除されます。

割込通話サービス

サービスのご利用には、別途お申し込みが必要です。このサービスは、音声電話でのみご利用いただけます。


割込通話サービスを設定／解除する

- 1 《スタート》→「設定」→「電話」→「音声通話」→「割り込み通話」
- 2 「割り込み通話を通知する」を選択
 -  を繰り返し押すと、オン／オフが切り替わります。
 -  を押してもオン／オフを切り替えることができます。
- 3 《完了》


割込通話を受ける

通話中に着信があったときは、割り込み音と画面表示でお知らせします。通話中の電話を保留にして、あとからかかってきた電話を受けることができます。

1 割り込み音が聞こえたら 《応答》

-  を押して、電話を受けることも可能です。

2 相手を切り替えるときは、 《切り替え》

- 《メニュー》→「切り替え」でも相手を切り替えることができます。
- グループ通話に切り替えるときは、《メニュー》→「三者通話」
- 通話中の電話を切るときは、 を押します。保留中の相手との通話に切り替わります。

- 割込通話中に通話中の相手が電話を切ったときは、《保留解除》を選択すると、保留にしていた相手との通話になります。
- 転送電話サービスや留守番電話サービスを設定している場合に割り込みに応答しなかったときは、転送先または留守番電話サービスセンターに転送されます。転送条件を「無条件」に設定していると、割込通話サービスをご利用になれません。

グループ通話サービス

サービスのご利用には、別途お申し込みが必要です。最大6人まで同時に通話できます。

通話中に別の相手に電話をかける

相手につながると、それまで通話していた相手は保留になります。

1 通話中→電話番号を入力

- 連絡先から選択するときは、《メニュー》→「連絡先」→相手を選択→電話番号を反転表示します。

2 →つながったら通話

- 3人目以降に電話をかける場合は、グループ通話中でのみ可能です（保留中の相手がいるときはできません）。

通話相手を切り替える

1 複数の相手と通話中に《切り替え》

すべての相手と通話する

1 複数の相手と通話中に《メニュー》→「三者通話」

- 個別通話に切り替えるには、通話中に《メニュー》→「プライベート」→通話したい相手を反転表示→《OK》を選択します。

- グループ通話中に相手が電話を切ったときは、残された相手との通話になります。

使いこなしチェック!

 **便利**  P.3-18

- グループ通話中に相手を選択して通話したい
- グループ通話中に通話を保留にしたい

発着信規制サービス

音声電話を、次の規制内容で制限できます。

設定項目	内容
発信規制	
自国以外の国際電話	自国以外の国際電話をかけられないようにします。
国際通話	国際電話をかけられないようにします。
すべての通話	すべての電話をかけられないようにします。
着信規制	
ローミング時	ローミング時の電話を受けられないようにします。
すべての通話	すべての電話を受けられないようにします。

- 設定時には、発着信規制用暗証番号の入力が必要です。
- 発信規制中に電話をかけようとする、発信規制中である旨のメッセージが表示されます。お客様がご利用になる地域によっては、表示されるまでに時間がかかることがあります。

注意

- 発信規制用暗証番号の入力を3回続けて間違えると、発信規制サービスの設定や解除ができなくなります。この場合は、発信規制用暗証番号と交換機用暗証番号の変更が必要となりますので、ご注意ください。詳しくは、お問い合わせ先(☎P.13-20)までご連絡ください。
- 転送電話サービスまたは留守番電話サービスを開始しているときは、発信制限と着信制限の「すべての通話」はご利用になれません(転送電話サービスまたは留守番電話サービスが優先されます)。

発信規制／着信規制を設定／解除する

1 《スタート》→「設定」→「電話」→「音声通話」→「発信規制」

2 規制内容の選択操作

- 発信規制を選択するとき
「発信制限」→「オフ」／「本国以外の国際電話」／「国際通話」／「すべての通話」
- 着信規制を選択するとき
「着信制限」→「オフ」／「ローミング時」／「すべての通話」

3 《完了》

4 発信規制用暗証番号を入力
→《完了》

発信規制用暗証番号を変更する

1 《スタート》→「設定」→「次へ...」→「セキュリティ」→「次へ...」→「発信規制のパスワードの変更」

2 「古いパスワード」欄に現在の暗証番号を入力

3 「新しいパスワード」欄に新しい暗証番号を入力

4 「新しいパスワードの確認」欄にもう一度新しい暗証番号を入力→《完了》

発信者番号通知サービス

お客様の電話番号を相手に通知するかどうか設定するサービスです。

発信者番号の通知／非通知を設定する

1 《スタート》→「設定」→「電話」→「通話サービス」→「発信者番号通知」

2 「自分の発信者番号の通知相手」欄で「常に通知」／「非通知」／「登録済み連絡先」にのみ通知

3 《完了》


- 本サービスの設定にかかわらず、発信することに電話番号を通知／非通知にできません。

便利な機能


便利

電話に関する便利な機能

入力した電話番号を連絡先に登録したい



 → 電話番号全桁（市外局番を含む）を入力 → 《保存》 → 《選択》 → 「Outlook 連絡先」 / 「SIM カード連絡先」 → 項目を入力 → 《保存》 / 《完了》

入力した電話番号を宛先としたメールを作成したい



 → 電話番号全桁を入力 → 《メニュー》 → 「SMS メッセージの送信」 → (P.4-9 「SMS を作成・送信する」)

自分の電話番号を通知するかどうかを設定して電話をかけたい



■ 番号を非通知にするとき

 → 「184」を入力 → 相手の電話番号を入力 →  と操作すると、発信者番号通知の設定にかかわらず、非通知で電話をかけることができます。

■ 番号を通知するとき

 → 「186」を入力 → 相手の電話番号を入力 →  と操作すると、発信者番号通知の設定にかかわらず、通知して電話をかけることができます。

通話中に相手の声の音量を調節したい

通話中に  / 

- 受話口やマイクイヤホンから聞こえる相手の声の大きさを調節できます。変更した音量は、電源を切っても保持されています。

音声の送信を設定したい

通話中に《ミュート》

- 通常の話話に切り替えるときは通話中に《ミュート解除》を押します。

通話中にスピーカーホン通話に切り替えたい

通話中に《メニュー》 → 「スピーカーフォンをオン」

- 通常の話話に切り替えるときは通話中に《メニュー》 → 「スピーカーフォンをオフ」にします。

通話を保留にしたい

通話中に《メニュー》 → 「保留」

- 保留中は相手に保留音が流れ、双方の声が聞こえなくなります。保留操作を行うには、割込通話サービスまたはグループ通話サービスのお申し込みが必要です。
- 通話に戻るときはもう一度《保留解除》を選択します。

ヘッドセットでの通話と本体での通話を切り替えたい

通話中に《メニュー》 → 「ハンズフリーをオフ」 / 「ハンズフリーをオン」

- Bluetooth® 対応のヘッドセットをご利用の場合に切り替えることができます。

通話中に連絡先を表示したい

通話中に《メニュー》 → 「連絡先」 / 「連絡先の表示」

- 通話中の相手の連絡先を表示する場合は、「連絡先の表示」を選択します。

便利**スピードダイヤルに関する便利な機能**

スピードダイヤルを実行したい

《スタート》→「アプリケーション」→「スピードダイヤル」→項目を反転表示→《実行》

スピードダイヤルから連絡先を検索したい


《スタート》→「アプリケーション」→「スピードダイヤル」→項目を反転表示→《メニュー》→「連絡先の検索」

スピードダイヤルを削除したい


《スタート》→「アプリケーション」→「スピードダイヤル」→項目を反転表示→《メニュー》→「削除」→《はい》

便利**通話履歴に関する便利な機能**

通話履歴からメールを作成したい

 →宛先にしたい履歴を反転表示→《メニュー》→「SMSメッセージの送信」→(P.4-5「メール作成・送信」)

通話履歴の電話番号が登録されている連絡先を確認したい

 →通話履歴を反転表示→《メニュー》→「連絡先を開く」

便利**グループ通話サービスに関する便利な機能**

グループ通話中に相手を選択して通話したい

グループ通話中に《メニュー》→「プライベート」→通話をしたい相手を選択

グループ通話中に通話を保留にしたい

グループ通話中に《メニュー》→「保留」

- 保留を解除するには、《保留解除》を選択します。